

2020年10月14日

サノフィが支援する日本糖尿病学会賞 「女性研究者賞」第2回受賞者を決定 - 女性医師の糖尿病研究業績を表彰 -

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)が昨年より支援を始めた、糖尿病研究における女性医師の業績を表彰する、日本糖尿病学会賞「女性研究者賞」の第2回目の受賞者が決定しましたので、お知らせいたします。

授与式は、一般社団法人 日本糖尿病学会(理事長:植木 浩二郎、所在地:東京都文京区、以下「日本糖尿病学会」)がオンラインで開催した、第63回日本糖尿病学会年次学術集会(10月5日から10月16日)にて、10月10日に行われました。受賞者は以下の方です。

受賞者(所属)	今村 美菜子(琉球大学大学院医学研究科 先進ゲノム検査医学講座)
研究業績	ヒトゲノム解析研究による2型糖尿病および糖尿病合併症の病因解明と新規治療法探索

日本糖尿病学会の会員医師に占める女性医師の割合は約3割と、国内の医師総数に占める女性医師の割合(約2割)を超えています¹。サノフィはダイバーシティを推進し女性の活躍支援に取り組んでいることから、さらなる女性研究者の活躍を目指した本賞を昨年より支援しています。受賞者は毎年1名、顕著な糖尿病研究業績をあげた会員の女性医師から選ばれ、盾と奨励金50万円が授与されます。

日本糖尿病学会の植木浩二郎理事長は「今村先生、女性研究者賞受賞大変おめでとうございます。先生の今後のますますの研究のご発展を祈念するとともに、本学会のリーダーとしてのご活躍も期待しております」と祝辞を述べています。

受賞された今村先生は、「この度は名誉ある賞を頂くことができ、大変光栄に思います。感謝の気持ちを忘れず、研究者として一層の精進を重ねるとともに、後進の女性研究者の活躍促進にも尽力してまいりたいと思います」と抱負を述べられました。



サノフィのジェネラルメディシンビジネスユニット JPAC リージョンヘッド 日本ジェネラルマネジャーの坂本和繁は、「今村先生に心よりお祝い申し上げます。糖尿病はまだまだアンメットニーズのある領域です。サノフィは糖尿病の疾患啓発や多岐にわたる治療の選択肢の提供を通じて、日本の糖尿病患者さんが安心して治療を継続できるよう努めるとともに、これからも女性の活躍推進に向けて傾注してまいります」とコメントしています。

以上



一般社団法人日本糖尿病学会について

日本糖尿病学会は、1957年12月、糖尿病学の進歩・発展を図り、国民の災害を防止することを目的とした任意団体として設立されました。創立以来、糖尿病の成因と治療に関する学術研究活動を継続し発展させてきたと同時に、その社会的使命を果たすべく、糖尿病の治療環境の向上を目指した活動を行ってきました。2012年には一般社団法人 日本糖尿病学会として現在に至り、2020年度現在の会員数は17,000名を超えます。

¹ 日本糖尿病学会「女性糖尿病医サポートの取り組み」より http://www.jds.or.jp/modules/education/index.php?content_id=25

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。